

# 一般質問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。  
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

**Q** 秋の行楽シーズンに向けて、つがる地球村に子育て世代を呼び込む誘客計画はあるか。

【市長】

**A** 今年度はイベント等の開催予定はないが、春にリニューアルオープンした大型遊具を目玉に誘客を進めている。来年度は、子育て世代の意見を聞きながらイベント等の企画を検討したい。

**Q** より多くの方につがる地球村を楽しんでもらえるよう、次の5つの施策を提案する。

(1) ドッグランの整備

(2) スケートボードパークの設置

(3) 小動物触れ合いコーナーの設置

(4) 熱中症対策のためのミストシャワーの増設

(5) 水辺の遊びの提供

【副市長】

**A** (1) ペットの同伴者からは、自然豊かな環境を楽しみながら愛犬と散歩できるとの声が多数寄せられている。当施設としては、芝生の上を自由に楽しめる現状の環境を提供していきたい。

(2) スケートボードのできる敷地や用具の準備が必要である。利用



つがる地球村  
なりた かつこ  
五和会 成田 克子

者以外に事故が及ばないように設置場所等の状況を確認したうえで検討したい。

(3) コーナー常設は飼育環境の整備や運営人員の関係上難しいが、イベント形式で一時的に開催できるような施設管理者と調整し、検討したい。

(4) スポーツパークでは今年の春に設置済みであり、状況次第では増設予定である。

【経済部長】

**A** (5) 芝生や土に水がたまると足場が滑りやすくなるため、散水方法や設置場所を確認したうえで検討したい。

**Q** 登下校時のスクールバスの利用について、夏期と冬期に違いはあるか。

【教育部長】

**A** 冬期の利用については、通年で設置しているバス停に加えて、原則として片道通学距離が2キロ以上で冬場の通学路の安全確保が十分でないとは判断された地区において、事故防止のためバス停を設置している。

今年度の利用人数については、次の表のとおり。

別表  
「令和7年度  
スクールバスの利用人数」

	夏期	冬期
小学校	532人	621人 (見込み)
中学校	168人	307人 (見込み)

**Q** 地球温暖化の影響で、自転車通学時の熱中症リスクが高まっている。

冬期のみ乗車可能な地区の生徒も夏期に乗車できるように対応してほしい。

【教育部長】

**A** 夏期運行経路上に冬期限定のバス停がある木造中学校では、バス会社との契約変更や予算面でも対応可能なため、来年度からの実施に向けて調整したい。



メロン・スイカフェスティバル  
スクールバス  
はせがわ えいこ  
無会派 長谷川 榮子

**Q** 8月に開催された今年度のメロン・スイカフェスティバルの検証は。

【市長】

**A** 今年度はつがる地球村の相撲場の屋根が老朽化で危険なため、イオンモールつがる柏に会場を変更して開催した。屋内開催は初めてのため、動線周知等に課題が見られたが、来場者数は2千人超と盛況のうちに終えられたと考える。

**Q** 来年度の開催予定は。

【経済部長】

**A** フェスティバルの開催日は、販売するメロンとスイカの数量を確保するため、その年の収穫ピーク時に合わせている。現時点で開催日や内容は未定だが、今年度の反省点を反映させたうえで協議し、決定したい。

# 一 般 質 問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。  
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

**Q** 本市の日本海沖では洋上風力発電所の建設が計画されている。市内事業者への波及効果と市財政への影響について詳細な説明を。

【市長】

**A** 発電事業者の試算によると、地域経済への波及効果は事業全体で約7千億円の見込みである。建設業のほか、作業員の常駐による飲食業や宿泊業など、多種多様な業種において需要拡大が想定される。

【財政部長】

**A** 発電設備や事業所等の建設により、固定資産税の増収が見込まれる。また、建設に関わる法人が本市に新設された場合は法人住民税のほか、雇用創出による住民税の増収などが期待される。

※関連ページ P9 行政視察報告

**Q** 木造、柏地区における宅地分譲の開発許可件数と新築住宅の建築件数は。また、農地から宅地への転用件数は。

【建設部長】

**A** 過去3年間では、令和6年度に木造地区で民間の宅地分譲が1件あった。

新築住宅の建築件数は、令和4年度は57件、令和5年度は44件、令和6年度は35件である。

【農業委員会事務局長】

人口減少対策



洋上風力発電事業

**A** 過去3年間の農地から宅地への転用件数は、次の表のとおり。

別表  
「木造、柏地区における農地から宅地への転用件数」

	木造地区	柏地区
令和4年度	1件	3件
令和5年度	0件	1件
令和6年度	5件	2件

**Q** 市では、柏地区にある市有の遊休地を住宅用地として民間事業者売却し、好評と聞いている。人口減少対策としての今後の市有地活用方法は。

【財政部長】

**A** 今後、民間事業者へ宅地分譲の条件を付けて売却し、住宅用地を整備してもらう方法が考えられる。

**Q** 道路交通法の改正により、平成29年3月12日以降に取得した普通免許では最大積載量2ト以上の車両を運転できない。

本市の消防団が保有する消防車両の台数は。

【消防長】

**A** 消防車両の保有台数は78台であり、そのうち運転に準中型免許の必要な車両は42台である。

**Q** 法改正後に普通免許を取得した団員数は。

また、準中型免許を保有していない団員に対し、免許の取得費用を助成できないか。

【消防長】

**A** 令和7年9月現在、法改正後に普通免許を取得した団員は20名である。

取得費用の助成については、団員の経済的負担軽減と消防団への加入促進につながる有効な施策と考える。すでに制度を導入している市町村の状況や財源をもとに、どのような支援が良いか検討する。

**Q** 高騰が続く米価について、今後は政府のコメ増産の方針により需給バランスが崩れ、下落する可能性もある。

来年度以降も安心して稲作に取り組めるよう、農家に対して市の方向性を示してほしい。

【経済部長】

**A** 令和8年の米価については、

米価の高騰

つがる市消防団



政府の方針に伴い下落する可能性もあるが、現状は不透明であり、引き続き価格動向を注視する必要がある。

市では農業収入保険や収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）への加入促進のほか、省力化や生産性向上を目指すスマート農業の推進を継続的に図りたい。

**Q** 昨年の12月定例会において、直播栽培の研究会の立ち上げを提案した。米価の下落に対応するため改めて必要と考えるが、検討したか。

【経済部長】

**A** 関係機関から情報収集中であり、本市に適した直播栽培の確立に向けて、研究会立ち上げの準備を進めている段階である。



# 一般質問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。  
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

**Q** 今年度の教育民生常任委員会の行政視察において、こどもの権利条例を制定した北海道石狩市の取り組みを調査した。  
本市では制定の考えはあるか。

【健康福祉部長】

**A** 県内では青森市とむつ市の2自治体が制定済みであり、子どもの権利や権利侵害に対する救済方法などを定めた本条例は有効であると考える。条例制定にあたっては、他自治体の動向を注視しながら検討したい。

※関連ページ P9 行政視察報告

**Q** 本市において、待機児童は発生していないか。また、障害や医療的ケアが必要な児童の受け入れ状況は。

P12「気になるワード」で解説

【健康福祉部長】

**A** 市内にある保育所と認定こども園、児童館に待機児童はいない。

障害のある児童については、保育所、認定こども園ともに可能な限り受け入れている。一方、医療的ケアが必要な児童については受け入れ体制が整っていないため、受け入れに前向きな施設への支援を今後も検討したい。

**Q** 本市の消防団の現状と課題は。



【消防長】

**A** 令和7年4月1日時点での在籍数は910名で、昨年より49名減少している。若年層の新規入団の少なさ等が課題であり、定年年齢引き上げのほか、年報酬や出勤報酬の見直しを行い、団員確保に努めている。

**Q** 災害時のきめ細やかな支援には、女性団員の力が必要と考える。女性の団員数と団員確保に向けた取り組みは。

【消防長】

**A** 令和7年4月1日時点で2名在籍している。避難所対応など、多様な面で力が発揮されると認識しており、積極的に入団を呼びかけているほか、活動環境や体制の在り方についても検討したい。

**Q** 令和7年10月1日に全国一斉に運用が始まる、マイナ救急の概要やセキュリティ対策等について詳細な説明を。

【消防長】

**A** 救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、病歴や服用している薬などを閲覧する仕組みであり、医療情報の正確な把握により搬送先医療機関までの所要時間短縮などが期待される。

マイナ救急に係る機器到着は9月中旬ごろで、総務省消防庁のセキュリティガイドラインを遵守し、安全対策に注意を払い運用する。

**Q** ネット119緊急通報システムの概要と本市の現状は。

【消防長】

**A** 聴覚・言語機能の障害などにより音声通話の困難な方がインターネットを利用して119番通報できるシステムであり、利用には事前登録が必要。本市の登録者数は6名で、これまでに緊急通報を受信した実績はない。

**Q** 本市の乳がん検診受診率と受診率向上を図る取り組みは。

【健康福祉部長】

**A** 県の公表によると受診率は36・4割で、県平均の19・5割、全国平均の16割を大きく上回っている。

受診率向上のため、本市では無料検診を受けられるほか、日曜



無会派 みつはし 三橋あさみ

日も集団検診を実施している。加えて、個別検診では西北五医療圏のほか、弘前市内の医療機関でも受診可能としている。

**Q** ピンクリボン月間に対する本市の啓発活動や取り組み内容は。

【健康福祉部長】

**A** おもに次の4つのとおり。

- (1) 健康づくり講座会場等への乳がん触診体験コーナーの設置。触診に関するパンフレットや検診啓発ティッシュの配布。
- (2) ケア帽子づくりボランティアの養成。
- (3) 市公式LINEや市ホームページを活用した啓発。庁舎等へのポスター掲示。
- (4) 子育て広場等を活用した健康教育の実施。

# 一般質問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。  
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

**Q** 過去5年間のスマート農業機械導入事業の実績は。また、来年度以降も補助を継続してほしい。

【経済部長】

**A** 申請件数は180件、事業費では1億4970万円補助している。機種別では田植え機70件、トラクター29件、ドローン20件、レベラー5件で、乾燥機や自動操舵システム等の導入実績もある。

【市長】

**A** スマート農業の推進は、本市の基幹産業である農業の持続的な発展に不可欠なため、来年度以降も引き続き支援したい。

**Q** 直播栽培で使用する直播機の購入費用を補助する事業はあるか。

【経済部長】

**A** 市実施の低コスト・省エネルギー機械導入事業において、今年度から直播機の導入が可能である。

**Q** 市立図書館から遠い稲垣、車力地区の利用者への対応は。

【教育部長】

**A** 車力地区では、むらおこし拠点館フラット内に市立図書館から借りた本を返却できるボックスを設置している。サービス向上のため、返却ボックスの増設に引き続き取り組みたい。

別表

「過去2年間の学校図書購入費決算額」

	令和5年度	令和6年度
小学校費	1,073,722円	1,056,765円
中学校費	576,966円	577,114円
計	1,650,688円	1,633,879円

**Q** 学校図書館の図書購入費用の総額は。

【教育部長】

**A** 令和7年度の予算額は、小学校費は107万5千円、中学校費は57万8千円である。  
過去2年間の決算額については、次の表のとおり。



## 予算・決算 特別委員会



全議員で構成される予算・決算特別委員会の審査内容をお知らせします。QRコードで動画をご覧ください。



委員長

平川 豊

※一万円未満四捨五入

議案第62号

令和7年度つがる市一般会計補正予算（第4号）案

歳出

ごみ出しサポート事業委託料

108万円

長谷川 榮子 委員

**Q** 事業内容等について詳細な説明を。

【民生部長】

**A** 集積所までのごみ出しが困難で介護の必要な高齢者世帯などを対象に、自宅前で家庭ごみ

を戸別収集する事業である。利用できる期間は12月～3月までとし、費用は無料。申し込みの受け付けは、11月開始の予定である。

議案第67号

令和6年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求める件

【歳入・歳出全般について】

さいとう わたる  
齊藤 渡 委員

**Q** 本市の地方債残高は約390億円である。市の財政は健全か。

【財政部長】

**A** 令和6年度決算における将来負担比率は98・7割であり、早期健全化基準の350割を下回っている。地方債残高のピークは過ぎており、今後も適正水準を維持できると考える。